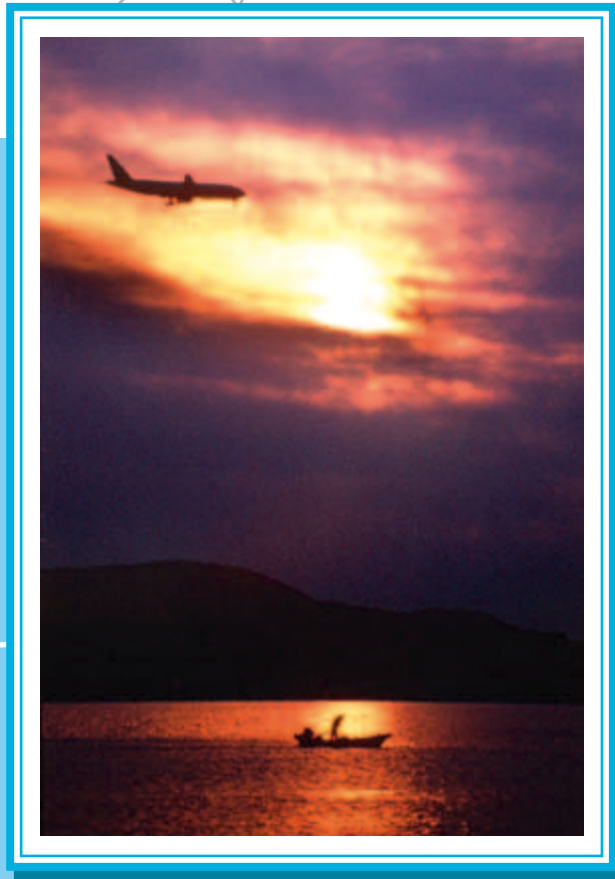


スナメリ かわら版

2004
夏
vol.2

大村湾周辺に
お住まいの皆様
の
情報誌です。



「夕照」 酒井勝義(諫早市久山町)
「大村湾の今昔 写真コンクール」最優秀賞

- スナメリと共にくらせる
湖(うみ)づくりをめざして 2~3
- がんばってます! 私たちの“まち”
(諫早市・長与町・東彼杵町) 4 5
- あなたも今日から大村湾探偵団 6~9
- 情報広場 10 11
- 大村湾の希少動植物「カブトガニ」 12

「夕照」に想う 酒井勝義

大村方面に、仕事でよく行くことがあります。仕事を終えて、三浦経由で久山町の自宅に帰るんですが、鈴田川下流の大村湾がとても感動的です。夕日がきれいで、湾全体がオレンジ色に染まってしまうような時もありますし、今回のように、柔らかい日差しの時もあります。それぞれが心に染みて、一日の疲れを癒してくれました。そして、この場所を何回も写しました。こんなにきれいな大村湾に出会えて、とても幸せです。皆様方と大村湾に感謝いたしております。





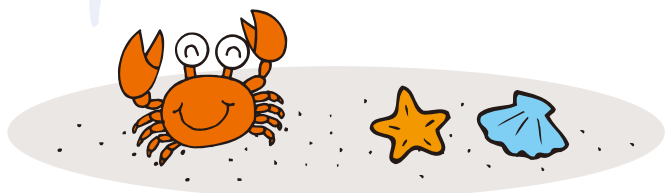
スナメリと共にくらせる 湖(うみ)づくりをめざして!

6月6日(日)、大村市の「シーハットおおむら」で、約1100人が参加して、ふるさとの海とまわりの環境、そして私たちの暮らしとの関係を考える「スナメリと共にくらせる湖(うみ)づくり大会」が開催されました。

◆オープニング

金子知事からの メッセージ

この大会をきっかけとして、大村湾をもう一度見つめ直し、是非、環境をまもる活動に参加しましょう!!



宣言が終わった後の、金子知事と子どもたちの笑顔



大村市立富の原小学校4年生のみなさんの宣言

私たちが大人になつたとき、大村湾が今よりもきれいな海になるよう、みんながんばります!

宣言をしてくれたのは、綾部光記さん、北川輝聖さん、指方裕斗さん、澤田寿美さん、都外川溪さん、瀧江陵友さん、松崎未愛さん、松本和志さんでした。

◆入賞おめでとうございませす

— 大村湾の今昔写真コンクール —



▶「大村湾の夕暮れ」
笹尾光生



▶「春の休日」
宮原洋子

大村湾の今昔 写真コンクール

「優秀」

最優秀

酒井勝義さん「夕照」

優秀

笹尾光生さん「大村湾の夕暮れ」

宮原洋子さん「春の休日」

入選

加島健さん「通学路の風景」

内野正さん「蛸漁をする人達」

大村湾の今昔写真コンクール「入選」

◆座談会

大村湾への思いを

あつく語りました

コーディネーター／中西こずえさん

大村湾を愛する地元の方々／浦増次さん、大熊豪さん、坂本健吾さん、高以良香さん、竹村陽さん

私たちは大村湾をもっと身近に感じ、大村湾のために、そこに棲む生物のために、何をしなければならぬか、何をしてはいけないかを考えて行動する時期に来ています。会場のみなさんも力を貸してくださいー！



▶「通学路の風景」

加島 健



▶「蛸漁をする人達」

内野 正

◆スライド&トーク

地球ものがたり海・空・山…

このすばらしき仲間たち

水中写真家

中村征夫さんからのメッセージ

スナメリの棲む大村湾を大事にしてください。まずは、自分の家庭からきれいにしてください。



写真集のサイン会



！私たちの“まち”

市や町で大村湾の環境保全や
している主な事業を紹介します。



諫早市

きれいな水を川へ海へ 未来へ
「いさはやエコフェスタ」

諫早市では、台所排水などで川や海を汚さないことをみなさんに知ってもらうために「いさはやエコフェスタ」を毎年開催しています。

昨年開催された「いさはやエコフェスタ 2003」には、多くの市民のみなさんに参加いただき、特に、市民エコライフコーナーの実演・体験コーナーでは、多くの来場者で賑わいをみせました。

・ポスターコンクール

環境についてのポスターを市内小中学生に募集し、119点の応募があり、特選2点入選10点が選ばれました。

・小中学生による環境についての

発表会「子ども環境フォーラム」

子どもたちが環境問題について取り組んだ成果を、元気いっぱい発表しました。



・環境市民団体による活動状況の発表

環境問題に取り組む市民グループが、活動のよさをわかりやすく発表しました。

・市民グループなどによる

「市民エコライフコーナー」

巨大テント(10m×20m)で市民団体の活動状況の展示や啓発資料の配布を行いました。また、気軽に環境とふれあえる実演体験コーナーを設けました。

●担当者から一言

今年も十月に開催を予定しています。みなさんに喜んで参加していただけるようなイベントにしていきたいと思っております。

長与町

長与の自然環境発見の拠点として
潮井崎交流館

長与町ウォーキングセンター潮井崎交流館は大村湾を望み、長与町が持つ豊かな農村、自然環境の発見が出来る施設として「長与ふるさと自然のみち事業」で整備しました。

ここは歩く人々の発着基地として、長与町の自然に関する情報提供はもちろん、郷土の自然や歴史、ウォーキングの豆知識などといった様々な自然が学習ができる拠点施設です。

施設内には、展示ホール(作品展示・行事案内等)・研修室(和室十五畳・研修・会議等)・炊事棟(野外炉八基・流し台)・シャワー室(男女各三室)を完備し、公園内にはアスレチック遊具を設置しています。

大村湾の潮風を感じながら、自然とのふれあい、一体感を体験していただける施設をモットーに整備を進めています。

また近くには、桜の名所として有名な和二郎公園、キャンプが楽しめる大村湾に浮かぶ一島園が望めます。

施設利用のお申し込みは、

長与町都市計画課

(電話)0955-8883(フリー)661。

がんばっています！

平成16年度に、大村湾流域の活性化のために取り組まれて

東彼杵町

水生生物が棲み良い川をめざして

東彼杵町には二級河川の彼杵川や千綿川など数多くの河川が存在しています。

この河川を流れている水のほとんどは、大村湾へと流れていきます。

そのため、毎年定期的に大村湾に流れ出る河川の状況を調べる目的で、水質調査を実施して河川の環境保全に努めています。

さらに町内小学校の子どもたちを対象に環境学習（水生生物調査）も実施しています。

1 水生生物調査
この調査は別名「リバーウォッチング」と呼んでいます。



簡単に言うと河川に生息している生物を観察してその河川の汚れ具合を調べることです。四小学校千綿



彼杵（大楠・音琴）の子どもたちを対象に毎年夏ごろ実施しています。

2 調査結果

東彼杵町内の河川の水質は全体的に「きれい」です。しかし、ひとつひとつの河川を個別に見てみると、前より少しずつ汚れてきています。

3 今後の調査予定

これまでと同様に、河川水質調査（十六河川）やリバーウォッチングを毎年定期的実施し、河川の状態を調べていきます。水質調査に関するお問い合わせは、東彼杵町保険衛生課（電話—0957・46・1111）まで。

●担当者から一言

水生生物調査では、生息しているサワガニやタニシ、ヒルなどを発見して喜んでくれる小学生の姿を見ているとこちらも嬉しくなり、毎年実施したいと意欲がわいてきます。



●担当者からの一言
ありがたい事に当交流館の利用者数は年々増加しています。なお一層、多くの方にご利用いただくために、「行ってみたい」「来てよかった」「もう二度来たい」と思ってもらえるような施設づくりを目指して整備していきます。

■あなたも今日から大村湾探偵団 （大村湾の生きものを調べよう！）

「スナメリかわら版」（春号）などでご協力を呼びかけて以来、特にスナメリに関して、一般の方から多くの情報が寄せられました。

●これまでに寄せられた情報

○スナメリ

これまでに寄せいただいた情報で、スナメリが目撃された地点は図（★印）に示した通りです。目撃頭数は、一回につき1頭から3頭程度が多いようですが、10頭程度の群れの報告もありました。これ



皆さんの情報によりスナメリが確認された地点（★）（岸に近い場所が多いようです）

らの目撃情報は、ほとんどが陸地からのもので、岸から100メートル以内の場所でもたくさん目撃されています。意外と皆さんの身近でも見られるかもしれませんよ！



スナメリはこんな感じで泳いでいます
（白木原美紀氏撮影）

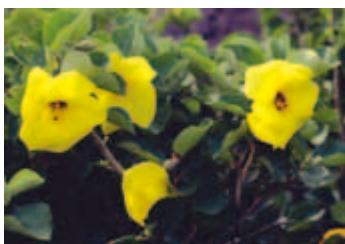
○カプトガニ、ハマボウ

カプトガニとハマボウについては、残念ながらスナメリほどたくさんの方の情報は今のところ寄せられていません。

しかしこれから夏休みにかけて、カプトガニとハマボウの観察に絶好のシーズンです。海に行ったら、ぜひ干潟でカプトガニを探してみてください。

ハマボウも海沿い、特に川が海に流れ込むような場所（汽水域）によく見られる植物です。何よりこれらの季節は、ハマボウが鮮やかな黄色い花を咲かせる時期です。もう咲いているよ！というものはあります。

県では夏休み期間中にカプトガニとハマボウの観察会を計画しています（詳細は自然保護課ホームページに掲載予定）。また、地域やグループが大村湾周辺で自然観察会を実施するときには、カプトガニまたはハマボウの生態に詳しい講師を派遣することができますよ！（「情報広場」参照）。



ハマボウの花は鮮やかな黄色です



ハマボウは群落を作りやすいのです

● 専門家による調査

皆さんからお寄せいただく情報の他に、大学の先生などにお願いで専門的な調査も行い、情報収集を行っています。

○ 空から

ヘリコプターを利用して、空からスナメリを観察する調査です。今年度第一回の調査は4月に行われました。その結果、上空約150m以上の高さで飛ばせば、ヘリコプターの音にスナメリがビクビクして、逃げてしまうことは無いことが分かりました。150mの上空から見るスナメリは



上空からスナメリを観察します



上空から見るスナメリはこんな感じ

小さくしか見えませんが、少しピンクがかかった白いスナメリの体が、濃い青色の海をバックにくっきりと浮かび上がって見えます。

スナメリはイルカのように、水面を飛び跳ねるように泳ぐことはあまり無いようです。上空から見たスナメリは、水面でのくんびりとくつろいでいるように見えました。また、小さな子供を連れてお母さんもいました！

今年度はあと3回、同様の調査が予定されています。この調査によって、大村湾に生息するスナメリの数や生態がより詳しく解明されることが期待されています。

○ 海から

船による調査も行っています。船だと、もしか

するとスナメリを間近で見ることができてもいられませんが、ただ、漁師さんたちによると、昔は船からスナメリがよく見られたそうですが、最近ではめっきりその機会が減ったと言います。また、スナメリを海上で確認しても、潜ってしまうと目では見えません。そこで「秘密兵器」を用意しました。

スナメリは、他のイルカと同じように超音波を出して、前方の障害物や餌を探っています。私たちが用意した秘密兵器は、このスナメリが発する超音波をキャッチできる特別なソナーです。これを使えば、スナメリが潜ってしまったも、追跡することができそうです。



これが秘密兵器!





船の上からスナメリを探します

ナメリウオッチングツアーなどができるように
なるかもしれません。

○河口の生物調査

大村湾の一番大きな特徴は、四方を陸に囲ま
れており、一見すると湖?とも思えるほど閉鎖
性の強い海域です。それからもう一つ、大村湾に
は実に大小80本以上の河川が流れ込んでいます。
河川が大村湾に流れ込む河口や入江こそ
がまさにカブトガニやハマボウなどの生息・生
育地です。また一般的に、真水と海水が混ざり
あう汽水域や干潟は、生物の種類が多いのです。
そこで、特に河口域における、ハマボウを含めた
植物、野鳥、カブトガニを含めた海岸動物、昆虫、
および地形・地質について、専門の先生方による
調査を行っています。カブトガニやハマボウ以外
にもまだまだ貴重な生物や珍しい生物が見つかる
かもしれません。

今回は、大村湾とその周辺で行われている生
物調査について紹介しました。専門家の先生方
による調査は、とても正確な情報が得られます
が、場所と時間が非常に限られたものです。

大村湾の自然と生物について詳しく知るため

5月に行われたスナメリウオッチング可能性
調査の際は、数頭のスナメリを眼で見ることが
できました。しかし悪天候のためもあって、残念
ながらスナメリの発する超音波をキャッチする
ことはできませんでした。

この調査は、今年度中にあと3回予定されて
います。次回は、まず超音波をキャッチすること、
それにどれくらい近づいたらスナメリが嫌がっ
て逃げてしまうのか?などを調べる予定です。
将来は、この調査で得られた情報などを元にス

には、皆様からの身近な情報が非常に大事です。
今回は調査票(次ページ参照)を付けました。引
続き情報提供をお願いします。

皆様からお寄せいただいた情報および専門
家による調査の結果などは、

「スナメリかわら版」やホームページ

(<http://www.pref.nagasaki.jp/size/index.html>)

などでお知らせしていく予定です。ご期待下さい!

●すべての情報のあて先および お問い合わせ先は、

長崎県民生活環境部自然保護課

花とみどり班(担当: 安原・岡山)

☆住所 | 〒850-0870 長崎市江戸町2番13号

☆電話 | 095-5020-6715(直通)

095-5024-1111(内線3885)

☆ファックス | 095-5020-7647

☆メール |

toshi_okayama@na.pref.nagasaki.jp

(携帯からの写真付きメールも大歓迎!)



大村湾探偵団捜査資料

発見した生物 (○を付けて下さい)

(スナメリ ・ カブトガニ ・ ハマボウ ・ その他)

発見場所

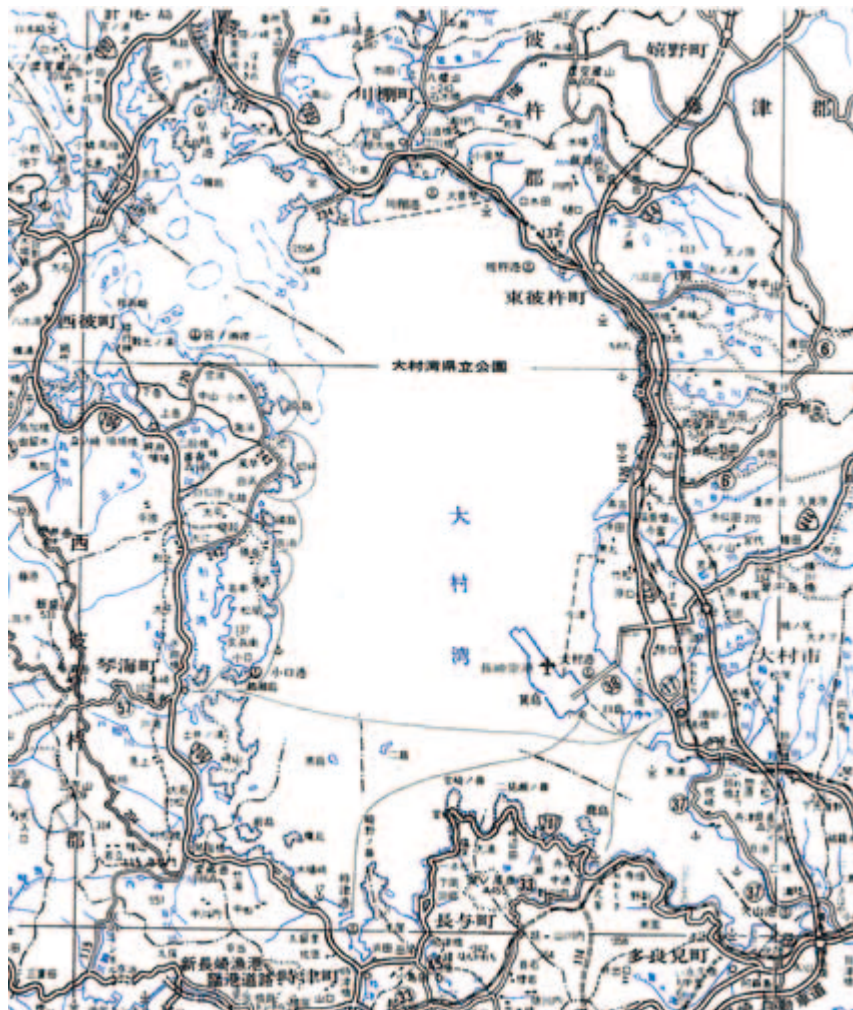
- 1 下の地図に×印をつけてください
- 2 地名などが分かれば書いてください

発見日時

発見者

- 1 氏名
- 2 連絡先(学校名でも良いです)

状況 (数は?、大きさは?、子供がいたか?、卵があったか?、花が咲いていたか?、など なんでも情報を書いてください。)



情報広場

■大村湾フローティング スクール(大村湾)

ハウステンボスの帆船「観光丸」に乗って、大村湾を周遊する「洋上学習会」です。大村湾の水質は？海底はどうなっているの？珍しい生き物って？さあ、帆を張って、大村湾に漕ぎ出そう！

・主催／長崎県

・とき／8月3日(火) 10時～14時

・ところ／川棚港出港、帰港

(各市町から川棚港まで、送迎あり)

・対象定員／小学5～6年、大村湾流域

各市町10名(多数の場合は抽選)

・参加費／無料

・申し込み・問い合わせ／

各市町環境担当課まで(12ページ参照)



観光丸

©ハウステンボス/J-7916

■町民一斉清掃(東彼杵町)

・とき／8月22日 7時～12時(予定)

・ところ／東彼杵町全域の海岸河川・道路など

・問い合わせ／東彼杵町保険衛生課

(0957・46・1111)

■自然観察会(長与町)

趣味と健康作りのため、2～3kmのコースを自然観察(野草観察)をしながら歩きます。高齢の方も安心！のんびり、ゆっくり、マイペースで！！

・主催／長与町図書館友の会

・とき・ところ／

7月25日 長与川周辺

8月21日 外海町黒崎湿地

9月26日 長与町サニータウン下～川平

10月17日 時津町崎野尾自然公園

・参加費／500円

・連絡先／馬込(095・8883・3056)



体験。ペーロン(長与町)



- ・体験場所／長与町大村湾内長与港
- ・利用時間／時間 9時～期間 4月～9月
- ・利用可能人数／一艇26～28名
- ・利用料金／1人1,300円
- (1時間半～2時間程度)
- ・駐車場／バス10台
- ・予約／1ヶ月前までに要予約
- ・問い合わせ先／長与町地域政策課

(095・8883・1111)

第6回里山と渚のサマービレッジ(天草・大村市)

天草の海、多良山麓と移動しながら、子どもたちが長期にわたって生活を共にし、身のまわりのことを自分でやりながら自然の中で学び、遊ぶ…そんな、12泊13日のサマーキャンプです。

- ・主催／サマービレッジ実行委員会
- ・とき／7月31日～8月12日
- ・ところ／熊本県天草町周辺、島原半島、とりかぶと自然学校(大村市中岳町)周辺
- ・対象定員／小学3年～中学3年、30名
- ・参加費／50,000円
- ・連絡先／エコシステム・鯖江

(095・8622・8026)



真珠の珠出し体験と手作り加工(西彼町)

貝の中から自分で真珠を取りだし、その場で加工、あなただけの真珠ができます。

- ・主催／西彼町観光協会・志田真珠(有)
- ・とき／通年(ただし5名以上から受付(要予約))
- ・ところ／西彼町宮浦 志田真珠養殖場
- ・内容／真珠と大村湾の説明
- ・真珠貝から珠の取り出し
- ・ペンダント・ブローチタイプなどの加工(約1時間)
- ・費用／説明・真珠の取り出し 1,000円
- ・アクセサリーへの加工 1,000円
- ・合計 2,000円

講師派遣のお知らせ(大村湾周辺)

地域の団体などが行う自然観察会に、県からクラブトガモしくはハマボウなどの生態に詳しい講師を派遣することができます。

- ・主催／長崎県
- ・とき／基本的に夏休み期間中です
- ・対象／大村湾周辺で自然観察会などを行う団体
- ・連絡先／県自然保護課・岡山

(095・8824・1111)

大村湾の希少動植物



カブトガニ

(*Tachypleus tridentatus*)

今回は「生きた化石」といわれるカブトガニを紹介します。

カブトガニは、地方では「ハチガメ」「ハチガシヤ」などとも呼ばれています。また、「生きた化石」と言われる非常に貴重な動物です。しかし、近年では数が減っており、県のレッドデータブックでは、準絶滅危惧種に指定されています。

カブトガニの血液は、バイ菌をゼラチン状に固めてしまうという、とても変わった性質を持っています。そのため、現在ではカブトガニの血液を元に多くの薬が作られています。カブトガニは、人間の健康にも貢献しているのです。

カブトガニが生息するには、波の静かな湾で、目の粗い砂浜(産卵場)、泥干潟(幼生の生育場)、藻場(亜成体の生育場)、砂や泥質の海底を持った海(成体の生息地)、がセットが必要です。大村湾でもこの条件を満たす海岸は、年々少なくなっています。私たちはこれらの環境を守っていかなくてはなりません。

○カブトガニの特徴

- 丸っこい甲羅と細く尖ったしっぽ。
- 体長…オス(約50cm)、メス(約60cm)。
- 餌…ゴカイやアサリなど。

○分布

- 日本…瀬戸内海全域から九州北部一帯。
- 世界…東南アジア一帯。



◀カブトガニ(親)
(西海パールリゾートより提供)



▶カブトガニ(幼体)
(西海パールリゾートより提供)



大村湾周辺にお住まいの
皆様の情報誌です。

■大村湾に関する環境情報を提供してください。■

- 長崎県環境政策課 ◎電話 095-822-4721 ◎FAX 095-820-4085
◎E-mail omurawan@pref.nagasaki.lg.jp
- 佐世保市環境保全課 ◎電話 0956-26-1787 ◎FAX 0956-34-4477
- 諫早市環境保全課 ◎電話 0957-22-1500 ◎FAX 0957-22-9137
- 大村市環境保全課 ◎電話 0957-53-4111 ◎FAX 0957-52-2902
- 多良見町住民環境課 ◎電話 0957-43-1111 ◎FAX 0957-43-1159
- 長与町環境対策課 ◎電話 095-883-1111 ◎FAX 095-883-2061
- 時津町住民環境課 ◎電話 095-882-2211 ◎FAX 095-881-2764
- 琴海町住民環境課 ◎電話 095-885-2111 ◎FAX 095-885-3937
- 西彼町町民課 ◎電話 0959-27-1111 ◎FAX 0959-27-1153
- 西海町町民課 ◎電話 0959-32-1116 ◎FAX 0959-32-0421
- 東彼杵町保健衛生課 ◎電話 0957-46-1111 ◎FAX 0957-46-0884
- 川棚町保健衛生課 ◎電話 0956-82-3131 ◎FAX 0956-82-3134
- 波佐見町住民課 ◎電話 0956-85-2111 ◎FAX 0956-85-5581

スナメリ かわら版



平成16年7月発行
編集・発行／長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13
TEL095-822-4721 FAX095-820-4085